



ボヌール

デイケア通信

二〇二二・七

お献立

おふかみなりづき やまぼう
起き伏しの 神鳴月や山の坊
かわひがしへきごとう
河東 碧梧桐

「神鳴月」とは今のだいたい七月、かみなりとともに梅雨が明けてゆき、いよいよ盛夏となる頃を指します。「神」の字が当てられ、かつての日本人が皆もっていた、森羅万象（しんらばんしょう）への信心と畏（おそれ）が表れていますね。

また、稲妻（いなづま）には「稲」の字が使われていて、わたしたちの先達（せんだつ）たちは、神鳴を畏れるのみならず、経験から、稲妻と農業との大事な関連について、良く知っていたとわかります。

のちの研究により、その仕組みは大きな電流が雨に溶け込み放電→大気中の窒素（ちっそ）が田畑に固着（こちゃく）→イネにとって吸収しやすい形の3大栄養素のひとつとなるIIが明らかになっています。

デイケア送迎のスムーズな運行を考えると悩ましくもある荒天（こうてん）ですが、今年も豊年満作（ほうねんまんさく）、と気分を好転（こうてん）し、乗りきってまいります。安全第一で送迎いたしますので、少しばかりお時間を余計（よけい）に頂くこともございます。ご容赦（ようしゃ）ようしゅ下さいます。

右の句の作者が当時どのような状況下で詠（よ）んだのかはわかりませんが、皆様起きたら伏せず、空調完備のボヌールへ、どうぞお越しくださいね。



7月7日(木) 昼

行事食 <たなばたま祭り>

涼し気なカラフル具のせ そうめん。

食が進む夏の献立。食べやすく麺を短くカットして提供も可能です。めんつゆが絶品。

七夕そうめん
精進揚げ
カブの酢の物
スイカ

キラキラ星を
ねがいごとで
ふくらませ



小船にぎっしり積み込みます



さあ、
希望の星をたぐり寄せましょう

荒波を乗り越えるには
高い位置でよく見て
たぐりますよ～

夏は来ぬ

しんちように

しんちように



介護老人保健施設ボヌール
さいたま市北区吉野町二の一三五
電話〇四八(六六一)八二二三